

あの時町長はこう答えた…

# 今、どうなった？

## 過去の質問（平成14年9月定例会）

**Q** 厚生労働省では、地域社会での子育て支援の諸施策に重点をおいているようであるが、熊野町においては具体的な企画立案をどう考えているのか。

**A** 少子化対策の基本計画である「筆の都子ども未来21」に沿い、実際の保護者のニーズを把握し、町の実情に応じた環境整備の充実に取り組んでいけるよう、熊野町住民の協力と理解により少子化対策を推進していく。

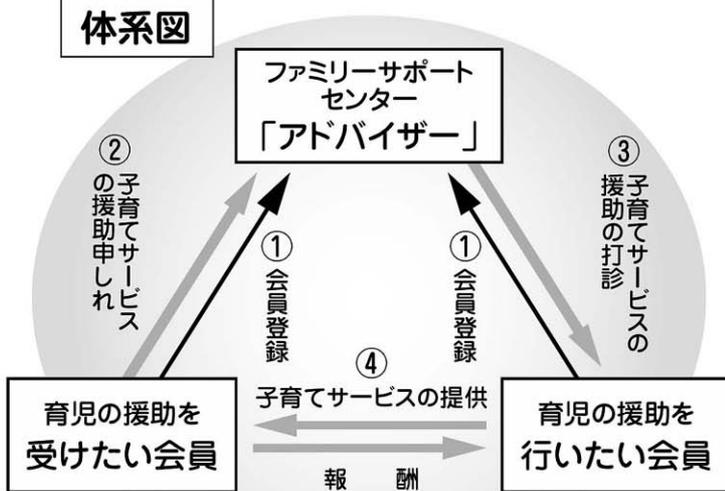


## 現在の状況

平成15年5月、西部地域健康センター内に「ファミリーサポートセンター」を設置！地域の中で、育児の援助を受けたい人と行いたい人が助け合っているよう、「ファミリーサポートセンター」を設置し、8月1日からの事業実施に向けて準備を進めている。実施主体は熊野町で、社会福祉協議会に委託して事業を展開する。

（既設の自治体：呉市・三次市・庄原市・福山市）

## 体系図



## 地域コミュニティ

### 〈利用までの流れ〉

- ① 子育ての援助をしたい、して欲しい人がセンターへ会員登録を行う。
- ② 援助を受けたい会員がセンターへ要請を連絡
- ③ 要望内容に応じた援助が行える会員を、センターがピックアップし、連絡。
- ④ 会員間でのサービスの提供と報酬の支払い。

### 〈サービス内容〉

- ・ 保育所時間外での一時預かり
- ・ 病児、病後児童の保育
- ・ 休日保育 など

### 〈お問い合わせ先〉

中央地域健康センター内  
 (社福)熊野町社会福祉協議会  
 TEL: 855-2855



**Q** 前土井総務部長  
 利用計画については文化施設及び児童福祉施設を検討している。核家族化・少子高齢化が進展する中で地域のつながりを促進するための施設整備として位置付けている。第三児童クラブの件についても南県営跡地全体を子育て支援の施設とする構想の下に検討している段階である。当該施設の詳細については、今後関係各位と調整しながら計画案を取りまとめている。

**A** 平本町長  
 平成十五年度においては跡地面積の約半分を購入する費用として二億五千万円を上程している。残りの部分についても早ければ九月議会で上程の予定である。施設の具体的な内容は、今後土地取得も含め、議会と住民の意見を反映させていく。

**Q** 山野議員  
 南県営跡地利用について南県営住宅跡地を町が買い取る際の購入の財源内容はどうなっているのか。さらにその利用計画で、三世交代交流スペースとしての施設を建設するとのことであるが、高齢者の方の活動も考慮しているのか、また第三児童クラブをそこに設置する意味は。